

ホルムアルデヒド放散等級

F ☆☆☆☆



ターペン可溶1液形フッ素樹脂系塗料

ニッペ 1液ファインフッソUV

ONE PACK FINE FLUORINE UV



1液で使いやすい
フッ素樹脂塗料が誕生。

ターペン可溶1液形フッ素樹脂系塗料

ニッペ 1液ファインフッソUV

ONE PACK FINE
FLUORINE UV

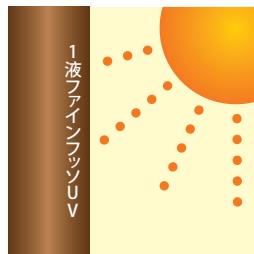


特長

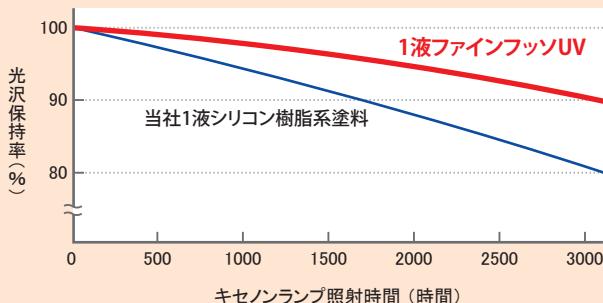
ニッペ 1液ファインフッソUVは、4フッ化フッ素の構造に基づく非常に優れた耐候性を有します。4フッ化エチレンを成分とするフッ素樹脂を配合した、まさに究極を目指したフッ素樹脂系外壁塗料です。

1 高耐候性

4フッ化フッ素樹脂を使用しているので、緻密で強力に結合した分子構造の働きで、外壁の劣化を最小限におさえ、高い耐候性を発揮できます。



[促進耐候性試験結果]

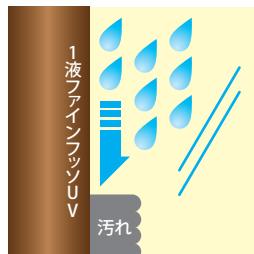


2 低汚染性

お家の外観を
美しく保つことができます。

塗膜表面を親水化していることで、外壁の汚染に対し、優れた効果を発揮することができます。

雨水が汚れの下に入り込み、汚れを浮き上がらせ、そのまま流れ落すことができます。

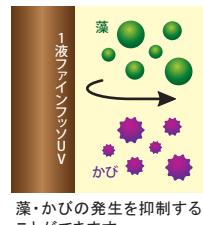


3 環境にやさしい

弱溶剤希釀タイプですので、環境にもやさしい塗料です。

4 防藻・防かび

藻・かびの発生を抑制することができます。



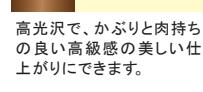
5 高光沢の美しい外観

高光沢で、かぶりと肉持ちの良い高級感のある美しい仕上がりになります。



6 抜群の作業性

塗装時の発泡がなく、抜群の塗りやすさです。乾燥性にも優れるので冬場の施工にも安心です。



7 1液架橋

2液の信頼性を1液常温反応硬化NAD技術で実現しました。硬化剤を入れる手間がないため、硬化剤の入れ忘れ、計量の煩わしさがありません。ポットライフ(可使時間)がありませんので、塗料をムダにしません。

8 透湿性

透湿性があるため塗膜の膨れや剥離を抑制します。

9 多用途

各種外壁(サイディングボード、モルタルなど)、鉄部、硬質塩ビ、FRPなどの新設、塗り替えに幅広く適用できます。

ニッペ 1液ファインフッソUV

施工上の要点及び注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

1. 弹性タイプ(JIS A 6909 防水形複層塗材E/RE)の上塗りに使用する場合は、必ず弾性添加剤を規定量添加したうえでご使用ください。なお、高弾性タイプ(JIS A 6921 建築用塗膜防水材)への使用はお控えください。
2. つや調整品を使用する場合は上塗り1(中塗り)に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
3. 蒸熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弹性リソ、弹性スタッフ、アクリルツップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥離していることがあります。そのまま塗装すると剥離がさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥離、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
4. 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗つておく必要があります。
5. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
6. つや調整品では、織り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
7. 週割希釈をすると本来のつやは発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
8. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやは若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
9. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
10. 防藻・防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
11. 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の汚染機能が発現されない場合があります。
12. 著しい汚染が発生しそうな個所には、状況に応じてニッペクリスタコートをオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
13. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸氣が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
14. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとうつりや引けやダレ、かびの不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
15. 異なる色相を塗り重ねる場合(例: 1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色(ブリード)によりする場合がありますのでご注意ください。
16. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
17. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面にしてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
18. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨を行うください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
19. 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
20. 改修工事にて使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤影れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
21. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ漫透シーラー(新)、ニッペ1液漫透シーラー、ニッペファイン漫透シーラーをご使用ください。
22. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
23. やにがし付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止めが向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗表面を十分乾燥させてから塗装してください。
24. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製HI5000シリーズ: コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
25. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイターンなどは除去し、目違い、ジャンク、コードレスジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
26. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(成形樹脂エマルジョン等の使用は避けてください)。
27. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
28. 材齧の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系希釈剤をご使用ください。
29. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ漫透シーラー(新)、ニッペ1液漫透シーラー、ニッペファイン漫透シーラーをお使いください。
30. 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどで皮の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護ブリートなどで接触防止を行ってください。
31. カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
32. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でない結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
33. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
34. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
35. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
36. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペフレッドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れます。シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
37. スチールドア・枠回りなどシーリング材との接触が起こる部分への塗装は避けてください。可塑剤の移行などにより塗膜が軟化、はく離し、シーリング材の機能を損なう可能性があります。
38. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
39. 薄めすぎは隠べい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
40. 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠べできない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認ください。
41. 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような個所に使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
42. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
43. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
44. かけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくて塗装してください。
45. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
46. 汚れ、さすなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
47. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り開閉まで入れてください
48. クロスの上の塗装は避けてください。
49. ローラー、はけなどはほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
50. 可塑剤が多く含まれる塗ビル鋼板、塗ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、成形皮革、塗ビクロスなどへの直接塗装をお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
51. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、バテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
52. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんして下さい。特につけ調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
53. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵庫で保存し、速やかに使い切ってください。
54. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
55. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 (ニッペ 1液ファインフッソUV ホワイト)

横倒禁止

1. 使用前に取扱説明書を入手すること。
2. 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
3. 熱、高温のもの、花火、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
4. 容器を密閉しておくこと。
5. 容器を接地しアースすること。
6. 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
7. 火花を発生させない工具を使用すること。
8. 静電気放電に対する措置を講ずること。
9. 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸氣／スプレーを吸入しないこと。
10. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
11. この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
12. 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
13. 環境への放出を避けること。
14. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
15. 本来の用途以外に使用しないこと。
16. 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。
17. 特別な処置が必要である。
18. 口をすぐすこと。
19. 漏出物を回収すること。
20. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息せること。
21. ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断／手当を受けること。
22. 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断／手当を受けること。
23. 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
24. 火災の場合: 消火するために適切な手段、を使用すること。
25. 皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
26. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。
27. 施錠して保管すること。
28. 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
29. 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
30. 直射日光や水濡れは厳禁。
31. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
32. 容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
33. 屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接する家の換気口、空気取り入れ口等に目張りをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにして下さい。
34. 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。
35. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。

* 上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

■ 詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険					危険有害性情報	引火性液体及び蒸気／皮膚刺激／吸入すると有害／(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ／(麻醉作用)眠気又はめまいのおそれ／生殖能又は胎児への悪影響のおそれ／長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害／長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
----	--	--	--	--	---------	---

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6712 中國支店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名「ピュアライド」会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●Copyright 2022 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
●日本ペイントホームページ http://www.nipponpaint.co.jp/

カタログNo.
NP-Z173

AA220603T
2022年6月現在